【ご使用上の注意点】

●点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
●天井の材質や構造によっては、器具取付天井面が変色する場合があります。
●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
　長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
●壁スイッチがないとリモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
●壁スイッチがＯＮの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
●LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
●3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
●点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

【周囲の影響】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

定格表

■本体■

カタログ番号	型　番	質　量	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
320X-232	68XL-08B9-Z0	1.5 kg	AC100V	50/60Hz 共用	全灯：40.4W　常夜灯：1.3W　待機時：1.0W以下	0.41A

■セード■

カタログ番号	型　番	色　種	質　量
324L1071B	04LK-23B4-ZB	ブラック	1.7kg
324L1071L	04LK-23B4-ZL	アイボリー	

保守とお手入れ

⚠ 注意	必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

お願い

◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
　変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、
　乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。

愛情点検

◇ぬれた手で器具に触らないでください。

◇使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
　※リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は、２本とも新しい同じ種類の
　　ものを使用してください。長期間使わない時は、電池を取り出してください。（液漏れによる故障防止）

◇リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。

アフターサービスのお問い合わせ

yamagiwa

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へご連絡ください。部品についてのお問い合わせは「部品名称」のイラストをご参照ください。

お客様相談窓口

弊社ホームページのお問い合わせフォームよりご相談ください。
https://www.yamagiwa.co.jp/contact/
※ お電話によるおい問合わせは承っておりません。

LED　直付器具

取扱説明書　BAUMN II

yamagiwa

このたびは、YAMAGIWA の照明器具をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
この説明書をよくごらんのうえ、正しく取り付け、正しくご使用ください。
お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

●電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

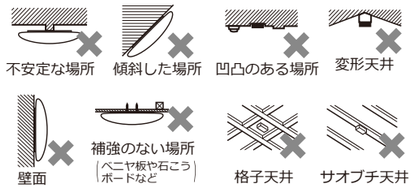
◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

禁止	してはいけない内容です。
必ず守る	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

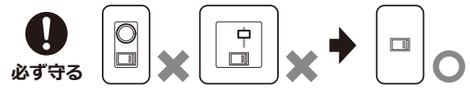
■取付面

●次のような場所には取り付けないでください。
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
◎この器具は水平天井専用です。



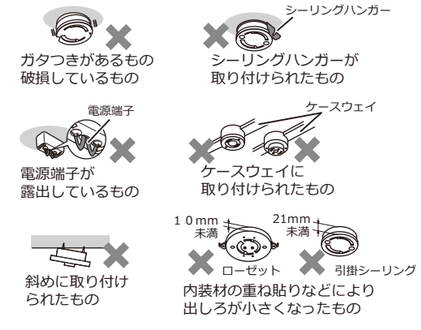
■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切スイッチに交換してください。
火災のおそれがあります。
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です）



■配線器具

●次のような配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けないでください。
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です）



■その他

●安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)には、単独で使用させないでください。また、製品で子供が遊ばないように注意してください。
器具の破損、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用してください。
過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

必ず守る

●異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。
異常状態が収まったことを確認し、お客様相談室にご相談ください。

●アダプタは確実に取り付けてください。
落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付けてください。
破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付けてください。
破損して感電のおそれがあります。

分解禁止

●器具を改造したり、部品を交換しないでください。
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

⚠ 注意

必ず守る

- **照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。**
  点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
  ◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
  （弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください）https://www.takizumi-denki.com/publics/index/208/
- **この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。**
  火災、感電の原因となることがあります。
- **取付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意してください。**
  転倒・落下してケガをするおそれがあります。
- **付属の梱包材は取り除いて使用してください。**
  そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- **カバーなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。**
  ◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。

接触禁止

- **点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。**
  やけどの原因となることがあります。
  ◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

- **浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。**
  火災、感電の原因となることがあります。
  ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

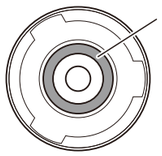
- **温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。**
  火災の原因となることがあります。
  ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
- **LEDを直視しないでください。**
  目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

取付ける前にまず付属部品をご確認ください

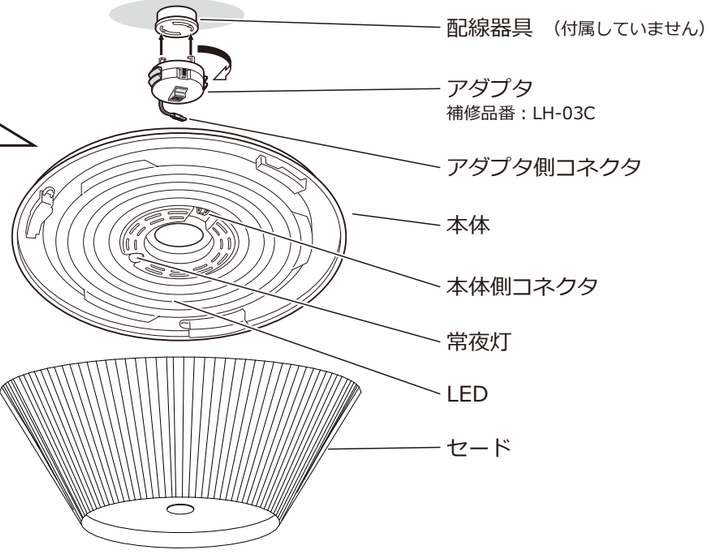
照明器具

本体を裏から見た図



スポンジ

本体裏面のスポンジは取りはずさないでください。本体の回転防止・防虫機能のため必要なものです。



⚠ 注意

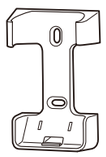
本製品のセードは非常に繊細な素材となっています。取り付け・取り外しの際には以下の点にご注意ください。
●セードを指などで押し込まないでください。
●セードの端部を強く握らないでください。

リモコンと付属部品

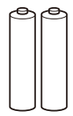
リモコン（補修品番：TLR-100）

※リモコン前面の保護シートを取りはずしてご使用ください

リモコンホルダー



単4形乾電池(2本)



※動作確認用のため電池寿命が短い場合があります

木ネジ(2本)

※リモコンケース取付用

ご使用上に関するお知らせ

【ご使用上の注意点】

- 点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、器具取付天井面が変色する場合があります。
- 木や和紙など素材を使った商品は天然素材の特性上、同一品番でも商品ごとに寸法および色合い模様が多少異なる場合があります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないと、リモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがＯＮの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- タイマー機能・るすばん機能は、侵入や盗難などを阻止する機能ではありません。発生した損害については弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

お手入れについて

電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください

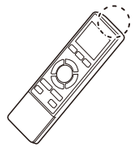
- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に１回程度）に下記の手順で清掃してください。

【 本体 】
汚れは、やわらかい布を石けん水に浸し、よく絞ってから軽く拭き取る。
必ず最後にやわらかい布で乾拭きをする。（水洗いはできません）

【 カバー（プラスチックのもの）】
汚れは、やわらかい布を石けん水に浸し、よく絞ってから軽く拭き取る。
必ず最後にやわらかい布で乾拭きをする。

【 カバー（木・竹・和紙など）】
ハタキ・ハケ・やわらかいブラシ等でこまめにホコリを払い落とす。
（水洗いはできません）

- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は２本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
  長期間使わないときは電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)
- リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



リモコン送信部

確認 シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

故障かな？と思ったら　下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因		点検事項
点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	➡	壁スイッチをONにしてください ⇒ 4ページ・・・
	器具のコネクタが確実に差込まれていない	➡	器具のコネクタを確実に接続してください ⇒ 4ページ・・・
リモコンで操作できない	リモコンと器具のチャンネルが合っていない	➡	リモコンと器具のチャンネルを合わせてください ⇒ 13ページ・・・
	リモコンの電池が正しく入っていない	➡	リモコンの電池を正しく入れてください ⇒ 5ページ・・・
	リモコンの電池が消耗している	➡	リモコンの電池を交換してください ⇒ 5ページ・・・
リモコンの液晶画面の表示が薄い	リモコンの電池が消耗している	➡	リモコンの電池を交換してください ⇒ 5ページ・・・
タイマー機能・るすばん機能が作動しない	壁スイッチがOFFになっている	➡	壁スイッチをONにしてください ⇒ 4ページ・・・
	照明器具本体が作動する範囲内にリモコンを置いていない	➡	照明器具が作動する範囲内にリモコンを設置してください ⇒ 10～11ページ・・・
タイマー機能が作動しない	「タイマー入」と「タイマー切」の設定時刻を同じ時刻で設定している	➡	タイマー設定時刻を確認してください ⇒ 9ページ・・・
勝手に点灯・消灯する	offタイマー30分／60分がセットされている	➡	offタイマー30分／60分を解除してください ⇒ 12ページ・・・
	タイマー機能が作動している	➡	タイマー機能を解除してください ⇒ 10ページ・・・
	るすばん機能が作動している	➡	るすばん機能を解除してください ⇒ 11ページ・・・
	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	➡	壁スイッチをOFFにしてください ⇒ 4ページ・・・ リモコンまたは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替えてください ⇒ 4ページ・・・

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

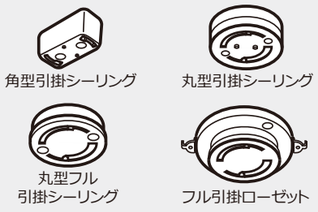
照明器具の取り付け方　安全のため、必ず電源を切ってからおこなってください

1 天井の配線器具を確認する

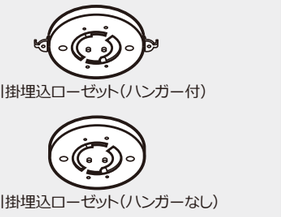
天井に右図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。
※壁スイッチと併用をおすすめします。

❗ 右記以外の配線器具の場合や、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です）

天井からの出しろが 22mm の配線器具



天井からの出しろが 11mm の配線器具



2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

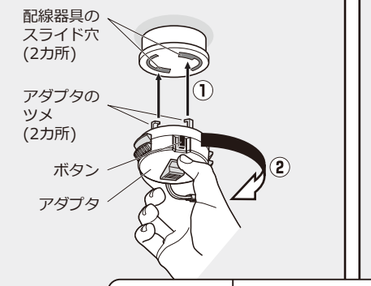
①アダプタのツメ(2カ所)を配線器具のスライド穴(2カ所)に入れ、

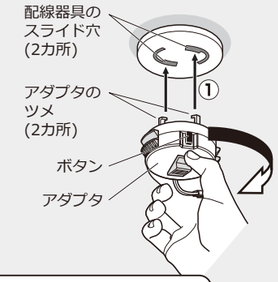
②「カチッ」と音がするまでアダプタを右に回して取り付ける

確認　アダプタ取り付け後、ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する。

⚠ 警告

❗ **必ず付属のアダプタを使用する**
付属のアダプタ以外を使用した場合、本体が外れなくなる場合があります。





⚠ 警告　❗ **アダプタ、本体は確実に取り付ける**
落下してけがのおそれがあります。

3 本体を取り付ける

配線器具により本体の取付位置が異なります。
右図を参考に本体を押上げてください。

①本体の穴にアダプタ側コネクタを通し、

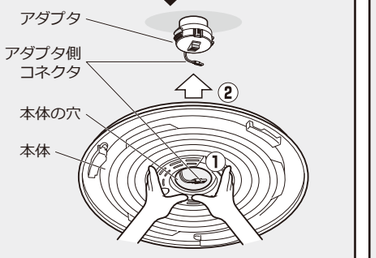
②本体の穴をアダプタに合わせて本体を押上げる

⚠ 注意

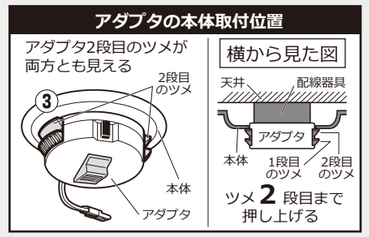
❗ 本体を押上げる際は穴のまわりを押上げてください。

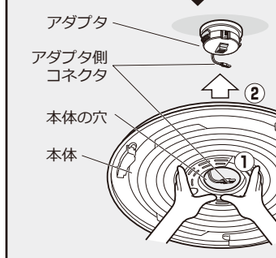
③本体の穴からアダプタのツメが見えることを確認する

④アダプタのハンドルをロックする

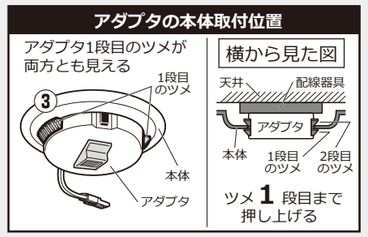


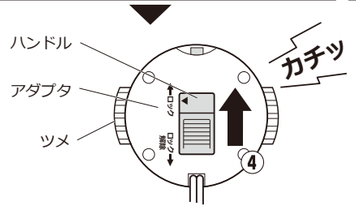
下図のように、アダプタ 2 段目のツメが見えるまで本体を押し上げる。





下図のように、アダプタ 1 段目のツメが見えるまで本体を押し上げる。



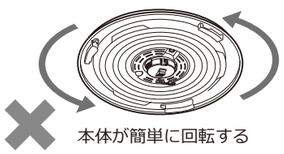


アダプター正面から見た図

「カチッ」という音がなるところまでハンドルをスライドさせてロックする

4 本体が正しく取り付けられているか確認する

確認　本体が簡単に回転する場合は、正しく取付けされていないので手順 **3** を再度行ってください。



（次ページにつづく）

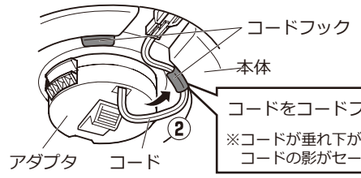
（前ページのつづき）

5 コネクタを接続する

①アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込む

確認　★の部分を押さえずに引っ張り、アダプタ側のコネクタが抜けないことを確認してください。

②アダプタのコードを本体のコードフックに引掛ける



コードをコードフックに引掛ける
※コードが垂れ下がった状態のまま照明器具を点灯すると、コードの影がセードに映り込むことがあります。

⚠ 警告

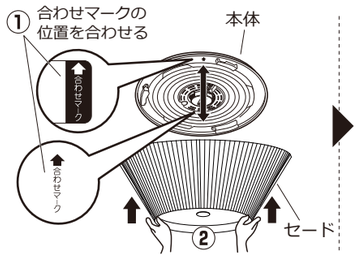
コネクタ接続後は本体を無理に回さないでください
器具や配線器具の落下、破損の原因になります

6 セードを取り付ける

①本体とセードの合わせマークの位置を合わせ、

②セードを持ち上げて本体にはめ、

③「カチッ」と音がするまでセードを水平に右に回して取り付ける



セードの取りはずし方

①セードを左に回し、
②セードを取りはずす

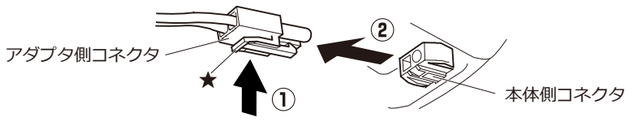
確認　セードが確実に取付けされていることを確認してください。セード取り付け時に本体が簡単に回転する場合は、本体が正しく取り付けされていません。手順 **3** に戻って本体の取り付けを再度行ってください。

照明器具の取りはずし方　安全のため、必ず電源を切ってからおこなってください

1 コネクタをはずす

①コネクタの★の部分を押さえながら

②アダプタ側コネクタを引き抜く

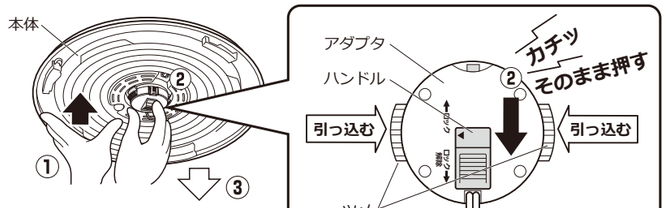


2 本体を取りはずす

①本体が落ちないようにしっかりと支えながら、

②アダプタのハンドルを「カチッ」と音がなるまでロック解除の方向へスライドさせてロックを解除し、そのままアダプタのツメが引っ込むまでハンドルを押してスライドさせる

③本体をゆっくりと下げて取りはずす



アダプター正面から見た図

3 アダプタをはずす

①ボタンを押しながら

②左に回してアダプタをはずす

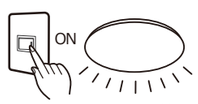
⚠ 警告

本体が落ちないようにしっかりと支える
落下してけがのおそれがあります。

壁スイッチで照明器具を操作する

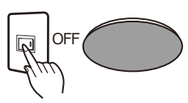
点灯・消灯する

「入」



壁スイッチを入れる(ON)と、記憶している前回の状態で点灯します。
初期設定は【消灯】の状態を記憶しています。

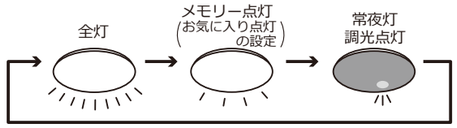
「切」



壁スイッチを切る(OFF)と、現在の状態を記憶して消灯します。

●リモコンで「明るさと色あい」を調節した状態で、壁スイッチを使って消灯した場合は、現在の状態を記憶しません。そのため、次にONした時は最後にお気に入り点灯ボタンに記憶した「明るさと色あい」で点灯します。
お気に入り点灯機能の使用方法は、6ページ「お気に入り点灯機能の使用方法」を参照。
●消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える



壁スイッチを素早く(約3秒以内に) OFF ⇔ ON を切り替えると上図のように点灯状態が切り替わります。

●お気に入り点灯機能の初期設定は、
【明るさ：100%、色あい：昼白色6200K※】の状態で記憶されています。
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用した場合、点灯状態が同時に切り替わらないことがあります。

※ K（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

チャンネル設定

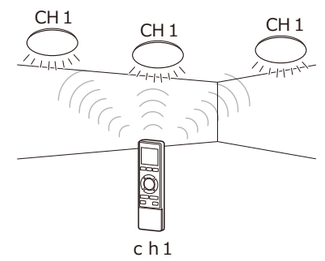
チャンネル設定でできること

**本製品はチャンネル1・2・3の設定ができます。
照明器具とリモコンのチャンネルを設定･切り替えることで、複数台(3台まで)のリモコン照明器具を操作できます。**

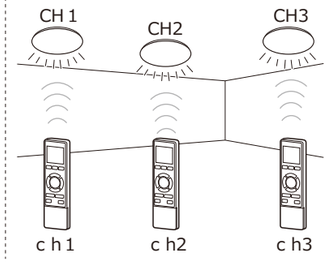
※リモコンで操作できない時は、リモコンと照明器具本体とのチャンネル設定が合っていない可能性があります。

⇒13ページ　「チャンネルの設定方法」を参照

【使用例1】
3台の照明器具を1つのリモコンで同時に操作



【使用例2】
3台の照明器具を別々に操作

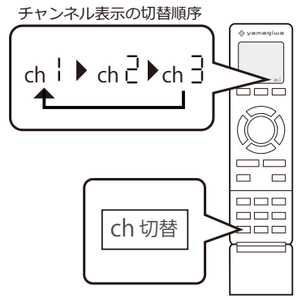


チャンネル設定前のご確認

●必ず照明器具本体とリモコンのチャンネルを合わせてご使用ください。
照明器具本体とリモコンのチャンネルが異なると、リモコン操作・チャンネル設定ができません。

●チャンネルを合わせる場合はリモコンの扉を開け、チャンネル切替えボタン [ch 切替] を押し、リモコン側のチャンネルを切り替えてください。
ボタンを押すたびにリモコンの液晶画面のチャンネル表示が《 ch1 》→《 ch2 》→《 ch3 》→…の順で切り替わります。
照明器具本体の明るさや色あいをリモコンで操作できればチャンネルが合っている状態です。
※チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。

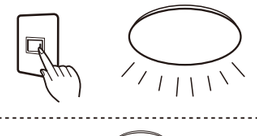
チャンネル表示の切替順序



チャンネルの設定方法

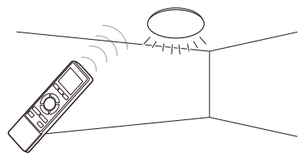
①チャンネル設定をする器具のみを壁スイッチONにする

「入」



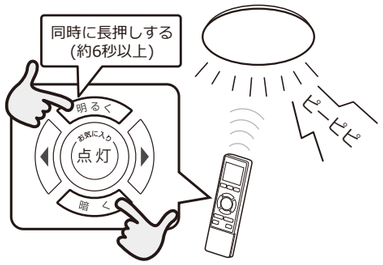
②照明器具本体とリモコンのチャンネルが合っているかを確認する

【確認方法】照明器具本体をリモコン操作できればチャンネルが合っている状態です。
リモコン操作ができない場合、上記「チャンネル設定前のご確認」を参照ください。



③照明器具本体のチャンネルを切り替える

【 手 順 】 照明器具本体にリモコンを向け「調光ボタン 明るく / 暗く 」を約6秒以上、同時に長押ししてください。
照明器具本体のチャンネル切り替えが成功すると設定音が鳴り、点灯状態が全灯になります。
チャンネル切り替えは《 ch1 》→《 ch2 》→《 ch3 》→…の順で繰り返します。



設定音

ch1 ⇒ ch2切替時	ch2 ⇒ ch3切替時	ch3 ⇒ ch1切替時
ピー ピピ	ピー ピピピ	ピー ピ

※この段階では、照明器具本体のみチャンネルが切り替わっているためリモコン操作ができません。必ず下記手順④まで進んで設定を完了してください。
※設定音は照明器具本体からなります。周囲の音や取り付け環境によっては設定音が聞き取りにくい場合があります。

④リモコンのチャンネルを切り替える

【 手 順 】 リモコンの扉を開け「チャンネル切替ボタン [ch 切替] 」を押し、液晶画面のチャンネル表示が切り替わっていることを確認してください。

⑤照明器具本体の明るさや色あいをリモコン操作できれば、設定完了

チャンネル設定の際、切り替えたい照明器具本体以外も反応して同時に設定されてしまう場合は、壁スイッチOFFにし、対象器具以外のコネクタを取り外してからチャンネル設定をしてください。

offタイマー機能を使用する　壁スイッチは「入」の状態にしてください

offタイマー機能とは

30分後、または60分後に自動で消灯します。

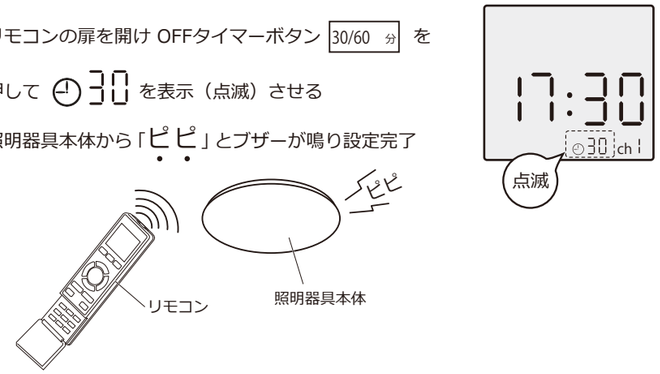
offタイマー機能の設定方法

30分後に自動消灯する

リモコンの扉を開け OFFタイマーボタン [30/60 分] を

押して 30 を表示（点滅）させる

照明器具本体から「ピピ」とブザーが鳴り設定完了

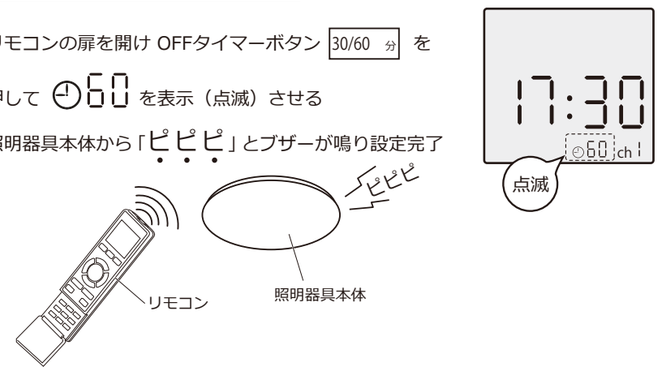


60分後に自動消灯する

リモコンの扉を開け OFFタイマーボタン [30/60 分] を

押して 60 を表示（点滅）させる

照明器具本体から「ピピピ」とブザーが鳴り設定完了

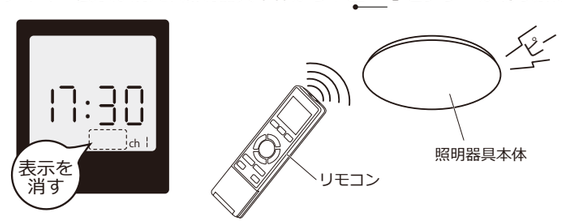


ボタンを押すたびに《30》→《60》→《30》→…の順で繰り返します。

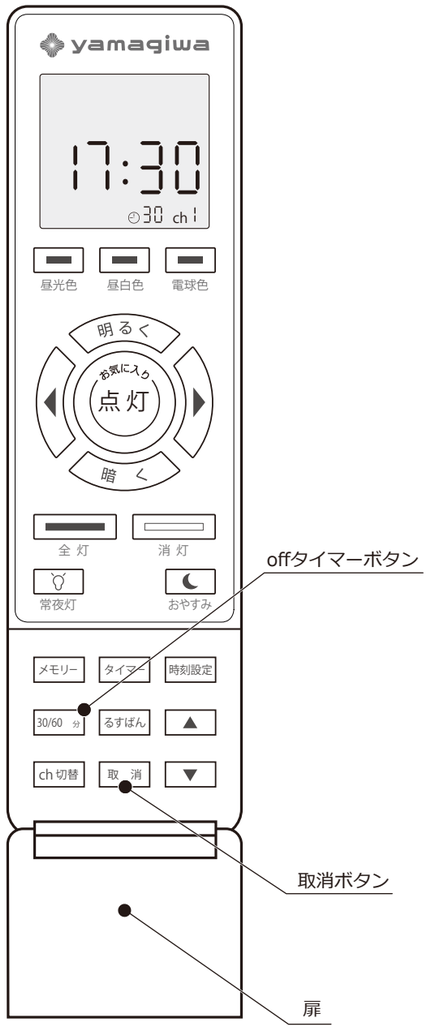
offタイマーを解除する

offタイマー作動中にリモコンの操作ボタン(扉内以外のボタン)を押すと

offタイマー表示が消え、照明器具本体から「ピー」とブザーが鳴り解除完了



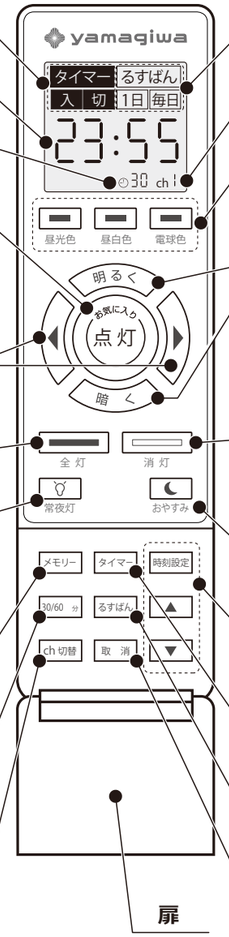
- 扉内の [取 消] ボタンではoffタイマーを解除できません。
- offタイマー実行後、再度offタイマーを押すとボタンを押した時点からの延長となります。
- 再度offタイマー設定が必要な場合は、改めてボタンを押して設定をおこなってください。



- 「offタイマー機能」と「るすばん機能」を同時に使用する場合は、消灯時間の設定が早い方が優先されます。
- 「offタイマー機能」と「タイマー機能」を同時に使用する場合は、消灯時間の設定が早い方が優先されます。

リモコンで照明器具を操作する　壁スイッチは「入」の状態にしてください

リモコンの説明（品番：TLR-100）　※リモコンなどの付属部品は1年保証です（乾電池を除く）



タイマー表示
タイマー機能 設定時に表示されます。

時刻表示
現在時刻や設定時刻が表示されます。

offタイマー表示
offタイマー機能 設定時に表示されます。

お気に入り点灯ボタン
メモリー設定をした「明るさ・色あい」で点灯します。
⇒初期設定【 明るさ:100%・色あい：昼光色6200K※ 】
⇒6ページの「お気に入り点灯機能の使用方法」を参照
●蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

調色ボタン
色あいを調節します。
調色範囲：昼光色6500K～電球色2700K※まで（10段階）

全灯ボタン
100%の明るさで点灯します。（昼光色）

常夜灯ボタン
常夜灯を点灯、ボタンを押すたびに明るさ調節します。
調光範囲：明暗上下3段階
⇒初期設定は、最大の明るさ(3段階目)
●常夜灯は調色できません。
●蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

メモリー設定ボタン
お気に入り点灯ボタンに、おこのみのあかりをメモリー設定する場合に使用します。
⇒6ページの「お気に入り点灯機能の使用方法」を参照

offタイマーボタン
offタイマーを設定すると30分後または60分後に自動消灯します。
タイマー作動中にリモコンの操作ボタン(扉内以外のボタン)を押すと「ピー」とブザーが鳴り、タイマーは解除されます。
必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。
⇒12ページの「offタイマー機能を使用する」を参照

チャンネル切替ボタン
操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
⇒13ページの「チャンネル設定」を参照

るすばん表示
るすばん機能設定時に表示されます。

チャンネル表示
設定しているチャンネルが表示されます。(ch1・ch2・ch3)

シーンダイレクトボタン
あらかじめ設定されている光色へワンタッチで切り替わります。
昼光色ボタン【 明るさ:100%・色あい:6500K※ 】
昼白色ボタン【 明るさ:100%・色あい:5000K※ 】
電球色ボタン【 明るさ:100%・色あい:2700K※ 】

調光ボタン
明るさを調節します。
調光範囲：100%～約10%まで（10段階）
明るく / 暗く　調光ボタンを同時に長押し(6秒以上)で操作する照明器具のチャンネルが切り替わります。
⇒13ページの「チャンネル設定」を参照

消灯ボタン
消灯します。
●この器具はリモコンで消灯している場合、約1W以下の電力を消費しています。 長期間ご使用されない場合は壁スイッチをＯＦＦにしておくことをおすすめします。

おやすみサポートボタン
おやすみサポート機能を設定する場合に使用します。
⇒6ページの「おやすみサポート機能の使用方法」を参照

時刻設定ボタン
現在の時刻、タイマー時刻の設定時に使用します。
⇒7ページの「時刻表示の設定方法」を参照
⇒8ページの「タイマーの時刻設定方法」を参照

タイマー設定ボタン
タイマー機能の設定時に使用します。
⇒8ページの「タイマー機能の使用方法」を参照

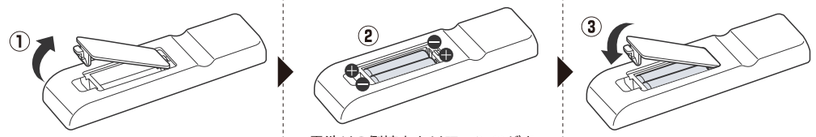
るすばん設定ボタン
るすばん機能の設定時に使用します。
⇒11ページの「るすばん機能の使用方法」を参照

取消ボタン
タイマー機能・るすばん機能の設定を取り消す場合に使用します。
●タイマー機能・るすばん機能の設定のみを取り消します。
●おやすみサポート、offタイマー(30分/60分offタイマー)の取り消しはできません。

※Ｋ（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

リモコン乾電池の入れ方

①リモコン裏側の電池蓋をはずす　②電池の⊕⊖を正しく入れる　③電池蓋を取り付ける

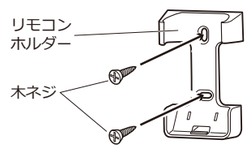


電池は⊖側接点をリモコンのバネに正しく押し当てながら装填する

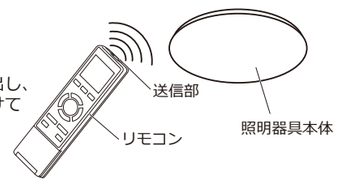
- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用のため電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池を入れる時、電池に傷をつけたり、カバーを破らないようにしてください。発熱、破裂、発煙、発火のおそれがあります。
- 電池交換時は２本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
- 長期間使わない時は電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

リモコンホルダーの取り付け方

付属の木ネジを使用して壁面に固定する



確認
リモコンを操作する場合は、リモコンホルダーから取り出し、照明器具本体に送信部を向けて操作してください。



リモコンで照明器具を操作する

壁スイッチは「入」の状態にしてください

お気に入り点灯機能の使用方法

お気に入り点灯機能とは

おこのみの明るさ･色あいを記憶し、ワンタッチでお気に入りの点灯状態で点灯できます。

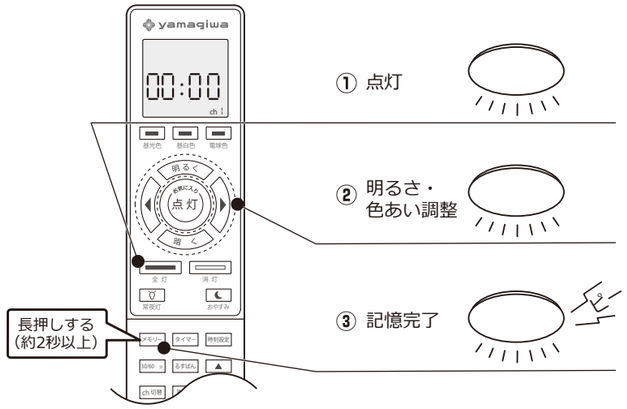
お気に入りのあかりを記憶する

①リモコンの「全灯ボタン」を押して点灯させる

②リモコンの「調光ボタン」「調色ボタン」を押して、
おこのみの明るさと色あいに調節する

③リモコンの扉を開け、「メモリーボタン」を
長押し(約2秒以上)して点灯状態を記憶する

※照明器具本体から「ピー」とブザーが鳴り記憶完了



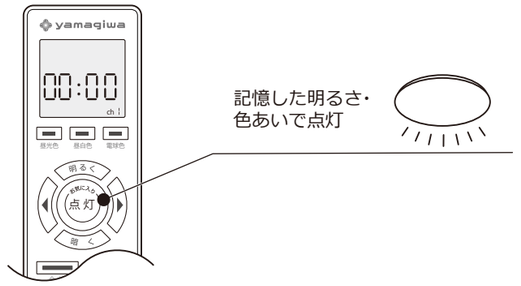
●再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさ・色あい保持します。
●常夜灯はお気に入りのあかりとして記憶できません。

お気に入りのあかりを点灯する

リモコンの「お気に入り点灯ボタン」を押して点灯させる

●お気に入り点灯機能の初期設定は、
【 明るさ：100%・色あい：昼光色6200Ｋ※ 】の状態
で記憶されています。

※Ｋ（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。



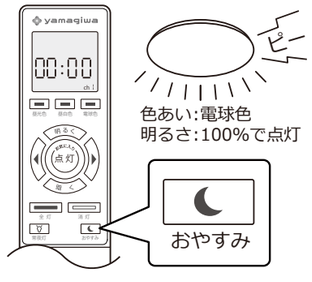
おやすみサポート機能の使用方法

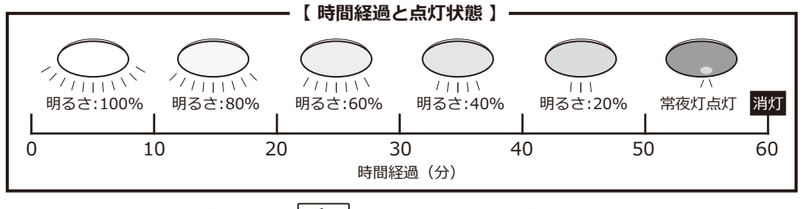
おやすみサポート機能とは

電球色のあかりがゆっくりと暗くなり60分後に消灯します。
おやすみ前のリラックスタイムに最適です。

おやすみサポート機能を実行する

リモコンの「おやすみサポートボタン ☾ 」を押すと、照明器具本体から「ピー」と設定音が鳴りおやすみサポート機能を開始します。
色あい：電球色、明るさ100%の状態からスタートし、ゆっくりと自動で調光し60分後に消灯します。





●実行後、再度「おやすみサポートボタン ☾ 」を押すと、おやすみサポート機能がリセットされ明るさ100%の状態から再スタートします。
●おやすみサポート機能を実行後、offタイマー機能またはタイマー機能を実行した場合、消灯時間の設定が早い方が優先されます。

おやすみサポート機能を解除する

リモコンの操作ボタン(扉内以外のボタン)を押すと、照明器具本体から「ピ」とブザーが鳴り、おやすみサポート機能を解除します。

●扉内の 取 消 ボタンでは、おやすみサポート機能を解除できません。

るすばん機能を使用する

壁スイッチは「入」の状態にしてください

るすばん機能とは

本製品にあらかじめ設定されている時間帯に、自動点灯・自動消灯を1時間毎に繰り返し、消灯して終了します。
「1日のみ実行」、または「毎日実行」を選択できるので、長期不在などで在宅を装いたいときにご利用いただけます。
点灯時は「お気に入り点灯ボタン」に設定されている点灯状態で点灯します。

【 本製品にあらかじめ設定されている時間帯 】

	点灯開始時間		るすばん機能作動中		消灯時間
パターン①	１７：３０	▶	1時間毎に点灯･消灯を繰り返す	▶	００：００
パターン②	１８：００	▶	1時間毎に点灯･消灯を繰り返す	▶	２３：００
パターン③	１８：３０	▶	1時間毎に点灯･消灯を繰り返す	▶	２３：３０

●左の3パターンの時間帯があらかじめ設定されており、3つのパターンのうち1つを本製品が自動で選択します。
●あらかじめ設定されている時間帯の変更や選択はできません。
●任意の時刻に点灯･消灯をおこなう場合は、「タイマー機能」をご使用ください。
⇒8ページ「タイマー機能を使用する」を参照。
●18：30を過ぎて「るすばん機能」を実行した場合は、次の日に作動します。
当日に作動したい場合は、18：30までに実行してください。

⇒お気に入り点灯機能の初期設定は、【 明るさ：100%・色あい：昼光色6200K※ 】
⇒お気に入り点灯ボタンにおこみのあかりを設定する手順は、6ページ「お気に入り点灯機能の使用方法」を参照
⇒「タイマー機能」と「るすばん機能」は同時に使用できません。

※Ｋ（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

るすばん機能の使用方法

「1日」のみ実行する

①リモコンの扉を開け 【るすばん】 ボタンを

1回押して 【るすばん / 1日】 を表示させる

②リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置に置く

確認　あらかじめリモコンを設置する場所から器具が作動するか確認をおこなってください。

「毎日」実行する

①リモコンの扉を開け 【るすばん】 ボタンを

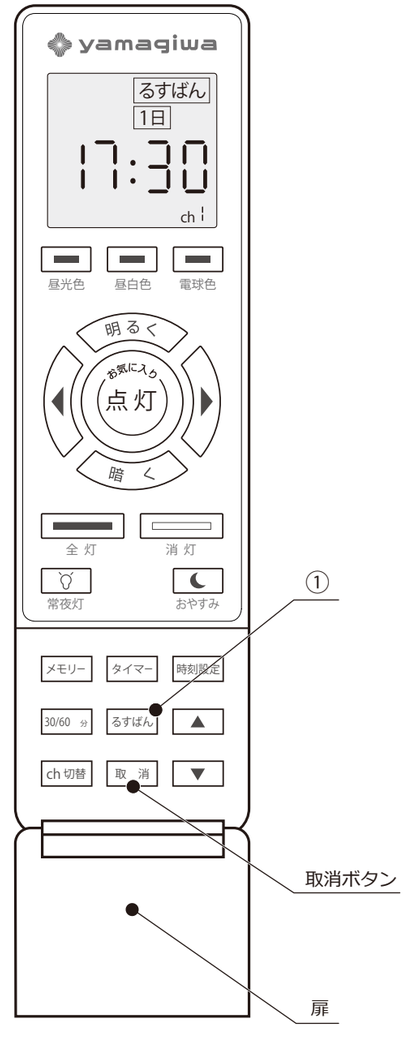
2回押して 【るすばん / 毎日】 を表示させる

②リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置に置く

確認　あらかじめリモコンを設置する場所から器具が作動するか確認をおこなってください。

るすばん機能を解除する

リモコンの扉を開け 【取 消】 ボタンを押し
るすばん機能表示を消して、タイマー設定を
解除する



●「タイマー機能」と「るすばん機能」は同時に使用できません。

タイマー機能の使用方法

「タイマー入」を使用して設定時刻に点灯する

①リモコンの扉を開け [タイマー] ボタンを
1回押して [タイマー 入] を表示させる

②リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置に置く

確認　あらかじめリモコンを設置する場所から器具が作動するか確認をおこなってください。

- タイマー機能点灯時は「お気に入り点灯ボタン」に設定された点灯状態で点灯します。
- お気に入り点灯機能の初期設定は、【 明るさ:100%・色あい:昼光色6200K※ 】
- お気に入り点灯ボタンにおこのみのあかりを設定する手順は、6ページ「お気に入り点灯機能の使用方法」を参照。
- 「タイマー入」の時刻設定方法は、8ページの「タイマーの時刻設定方法」を参照。

「タイマー切」を使用して設定時刻に消灯する

①リモコンの扉を開け [タイマー] ボタンを
2回押して [タイマー 切] を表示させる

②リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置に置く

確認　あらかじめリモコンを設置する場所から器具が作動するか確認をおこなってください。

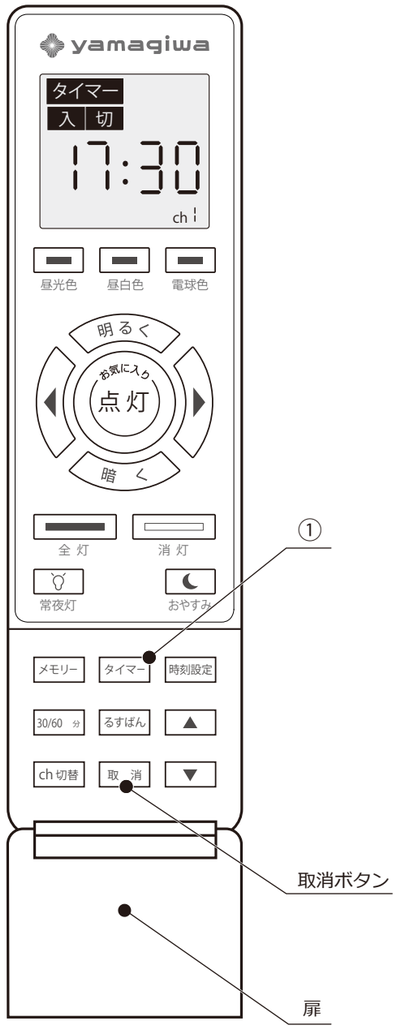
- 「タイマー切」の時刻設定方法は、8ページの「タイマーの時刻設定方法」を参照。

「タイマー入」「タイマー切」の両方を使用して設定時刻に点灯・消灯する

①リモコンの扉を開け [タイマー] ボタンを
3回押して [タイマー 入 切] を表示させる

タイマー機能を解除する

リモコンの扉を開け [取 消] ボタンを押し
タイマー表示を消して、タイマー設定を解除する



- 「タイマー機能」と「るすばん機能」は同時に使用できません。

※ K（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

時刻表示をあわせる

時刻表示の設定方法

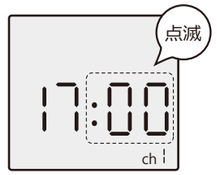
①リモコンの扉を開け、時刻表示が点滅するまで、
[時刻設定] ボタンを長押しする

- [タイマー] [るすばん] が表示されていない状態で現在時刻を合わせてください。表示されている場合は [取 消] ボタンで取り消しを行ってください。

②［▲］［▼］ ボタンで「時間」を設定する

- 「時間」は24時間表示です。
- ボタンを1回押すごとに1時間刻みですすみます。
- ボタンを長押しすると早くすすみます。

③ [時刻設定] ボタンを押して「時間」を決定し「分」の設定に移る

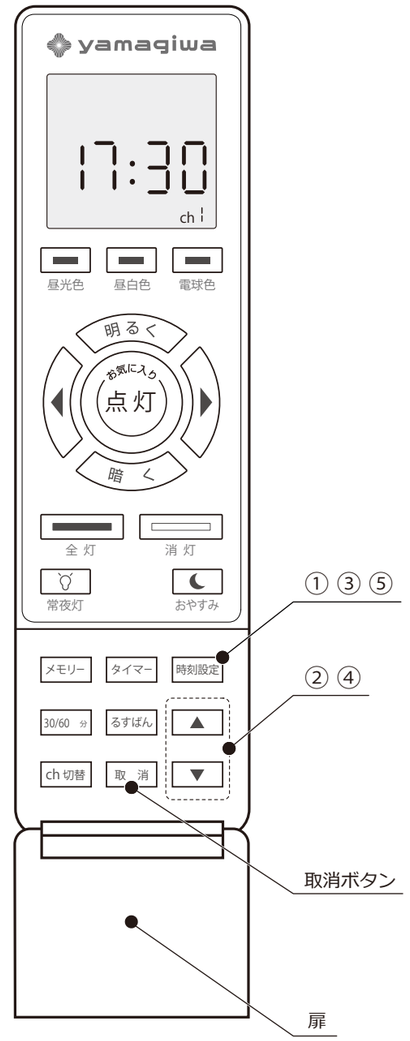


④［▲］［▼］ ボタンで「分」を設定する

- ボタンを1回押すごとに1分刻みですすみます。
- ボタンを長押しすると早くすすみます。

⑤ [時刻設定] ボタンを押して「分」を決定し現在時刻の設定を完了する

- 途中で設定を中段したい場合は [取 消] ボタンを押してください



- 約30秒間操作がない場合は、元の時刻に戻ります。
- 時計は環境により、1ヶ月に約3分程度ずれることがあります。時計の合わせかたの手順にそって現在時刻を合わせてください。

タイマー機能を使用する　壁スイッチは「入」の状態にしてください

タイマー機能とは

『点灯』『消灯』『点灯と消灯』 をタイマー設定した時間に自動でおこなうことができます。
例えば「朝起きる時刻に点灯させる」「就寝の時間に消灯させる」「留守中の在宅を装いたい」ときなどにご利用いただけます。
タイマー機能点灯時は「お気に入り点灯ボタン」に設定されている点灯状態で点灯します。

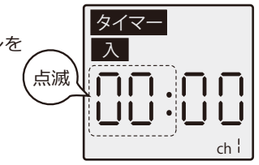
⇒お気に入り点灯機能の初期設定は、【 明るさ：100%・色あい：昼光色6200K※ 】
⇒お気に入り点灯ボタンにおこみのあかりを設定する手順は、6ページ「お気に入り点灯機能の使用方法」を参照
⇒「タイマー機能」と「るすばん機能」は同時に使用できません。

※ K（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

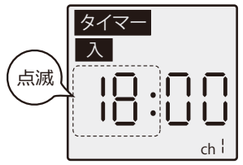
タイマーの時刻設定方法

「タイマー入」の時刻設定

①リモコンの扉を開け [タイマー] ボタンを
1回押して [タイマー 入] を表示させる

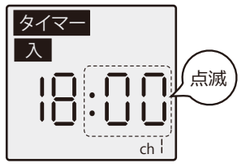


②時刻表示が点滅するまで [時刻設定] ボタンを
長押しする

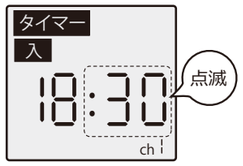


③ [▲][▼] ボタンで「時間」を設定する

- 「時間」は24時間表示です。
- ボタンを1回押すごとに1時間刻みですすみます。
- ボタンを長押しすると早くすすみます。



④ [時刻設定] ボタンを押して「時間」を決定し
「分」の設定に移る



⑤ [▲][▼] ボタンで「分」を設定する

- ボタンを1回押すごとに1分刻みですすみます。
- ボタンを長押しすると早くすすみます。

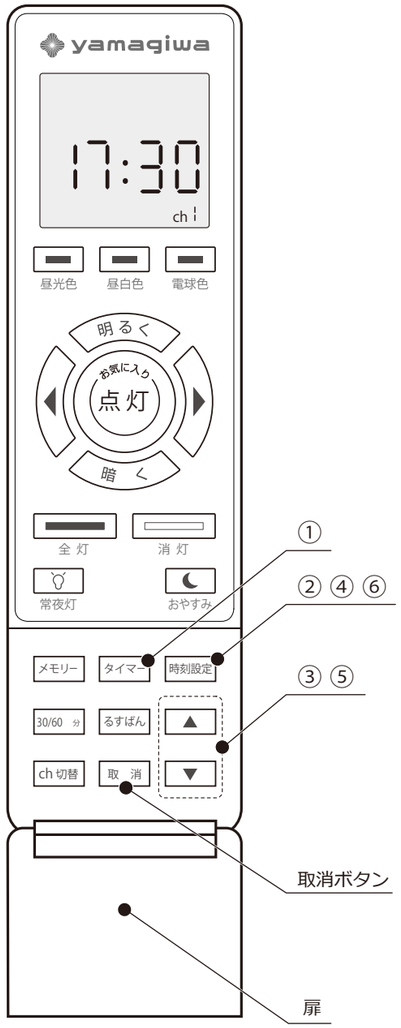
⑥ [時刻設定] ボタンを押して「分」を決定し
タイマー入設定を完了する

- タイマー入設定を完了すると、表示は現在時刻に戻ります。
- 途中で設定を中段したい場合は [取 消] ボタンを押してください

「タイマー切」の時刻設定

①リモコンの扉を開け [タイマー] ボタンを
2回押して [タイマー 切] を表示させる

②以降は、「タイマー入」の時刻設定と同じ手順で設定をおこなう



- 約30秒間操作がない場合は、元の時刻に戻ります。
- タイマーの設定時刻を変更したい場合は、「タイマー入」「タイマー切」の時刻設定を再度おこない、上書きをしてください。

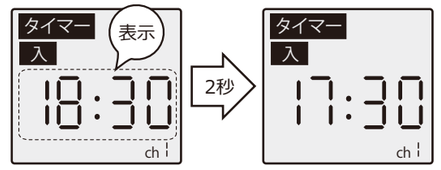
タイマー設定をした時刻の確認方法

「タイマー入」の設定時刻の確認

①リモコンの扉を開け [タイマー] ボタンを
1回押して [タイマー 入] を表示させる

② [時刻設定] ボタンを短押しして
「タイマー入」の設定時刻の
表示を確認する

- 2秒間「タイマー入」の設定時刻を表示しその後、現在時刻表示へ戻ります。



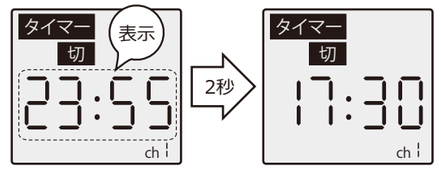
《「タイマー入」設定時刻 》　《 現在時刻 》

「タイマー切」の設定時刻の確認

①リモコンの扉を開け [タイマー] ボタンを
2回押して [タイマー 切] を表示させる

② [時刻設定] ボタンを短押しして
「タイマー切」の設定時刻の
表示を確認する

- 2秒間「タイマー切」の設定時刻を表示しその後、現在時刻表示へ戻ります。

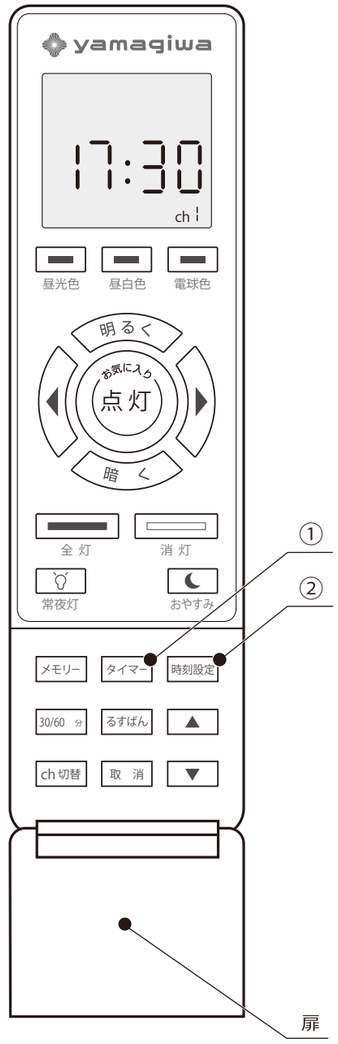


《「タイマー切」設定時刻 》　《 現在時刻 》

「タイマー入・切」の設定時刻を同時に確認

①リモコンの扉を開け [タイマー] ボタンを
3回押して [タイマー 入 切] を表示させる

② [時刻設定] ボタンを短押しして「タイマー入」「タイマー切」の設定時刻の
表示を確認する

- 「タイマー入」⇒「タイマー切」の順に2秒間ずつ設定時刻を表示しその後、現在時刻表示へ戻ります。

《「タイマー入」設定時刻 》　《「タイマー切」設定時刻 》　《 現在時刻 》